第8章 新エネルギーの導入推進体制

8-1. 基本方針

8-1-1. 新エネルギービジョンの位置づけ

森町では、「第１次森町総合開発振興計画」を策定しており、その中の重要項目として「自然・環境さわやかなまちづくり」、「基盤・安全　あんぜんなまちづくり」を設定しています。

これらでは、それぞれ環境にやさしいまちづくりを目指し、主要施策として明確に設定されています。

これらの実現に向けて、本ビジョンを「地球温暖化対策実行計画」とともに、「新エネルギー」の観点からハード整備や普及啓発の観点からアプローチする指針として活用します。

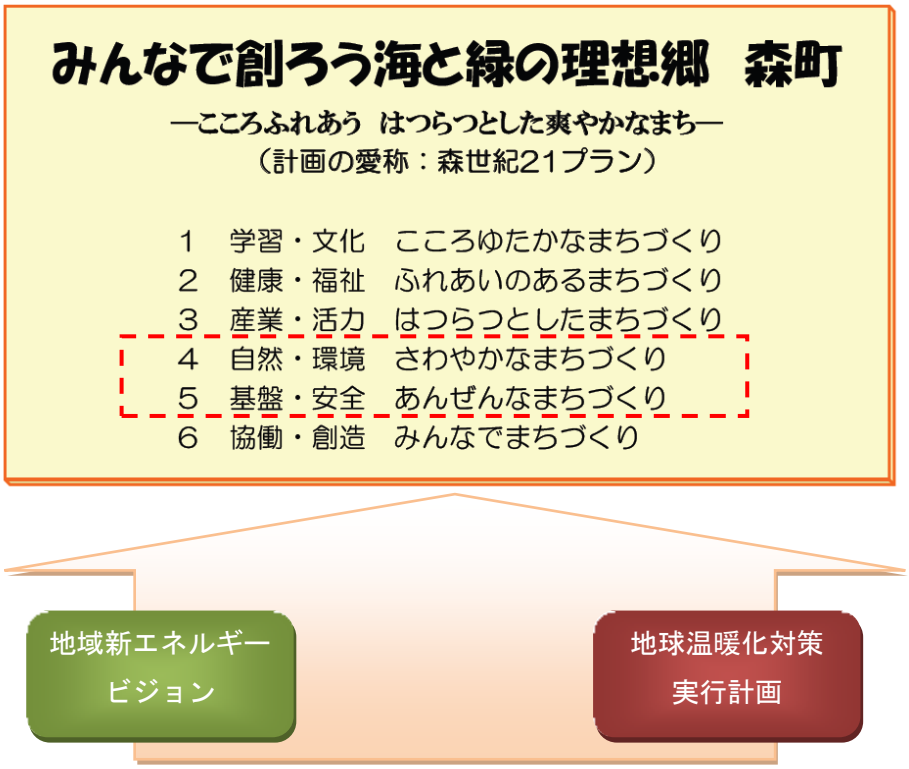

図 8-1-1　新エネルギービジョンの位置づけ

8-2. 新エネルギー導入の推進方策

8-2-1. 新エネルギー導入の体制

森町における新エネルギー導入については、町民・事業者・行政各関係課の個々の自主的な取り組みに加えて、お互いの協働によって総合的に進めていく体制づくりが必要となります。

そのため、新エネルギーの導入促進のための情報収集や導入促進に向けた検討を行うための庁内検討委員会などを立ち上げ施策推進の要に位置づけます。

また、広域での事業展開が有効なプロジェクトについては、都度、近隣自治体と情報交換や協議の場を設け、スケールメリットを生かした取り組みの体制づくりを図ります。

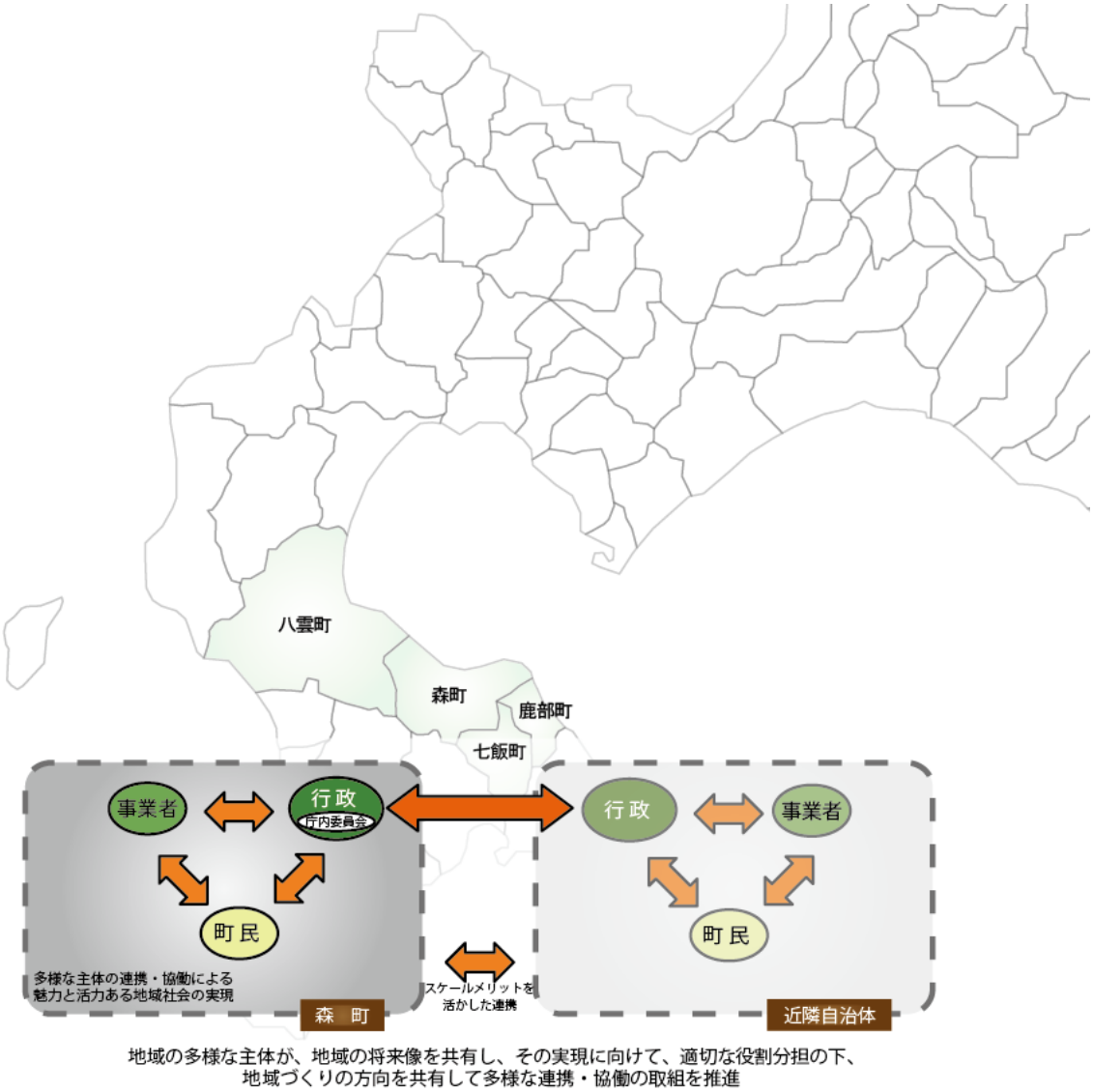

図 8-2-1　新エネルギー導入の推進体制案

8-2-2. 新エネルギー導入にむけたスケジュール（ロードマップ）

基本施策の推進に向けたロードマップを作成します。

ロードマップの時間軸は、計画前半（5 年間を目安）、計画後半（最終年次平成 36 年度）とします。また、それぞれの時期に設定した重点的な取り組みは、基本施策を踏まえて設定しています。

重点プロジェクト①「公共施設における新エネルギー導入事業」の推進に向けて
計画前半 ● 町民や事業者の環境意識向上を目的に、公共施設における率先導入を推進します。 ● 導入施設選定・FS 調査など導入に向けての詳細な検討を行います。
計画後半 ● 導入可能性調査の結果、導入が有効となり施設が整備された際は、普及啓発事業への積極的な活用を図ります。 ● 各種公共施設の更新の際には、新エネ設備の導入可能性の検討も視野に入れます。 ● 最終年次にあたっては低炭素社会構築に向けて、新たなビジョン作りに着手します。

重点プロジェクト② 「新エネルギー導入の推進に向けた普及啓発事業」の推進に向けて
計画前半 ● 設備導入に向けて導入地点選定・FS 調査など導入に向けての詳細な検討を行います。 ● 環境面における生涯学習事業、適正な進行管理事業を展開します。
計画後半 ● 重点プロジェクト①及び重点プロジェクト③と連携してエネルギーの上流から下流までを意識して普及啓発事業への活用を目指します。 ● 低炭素社会構築に向けて、新たなビジョン作りに着手します。

重点プロジェクト③ 「森町の地域資源の利活用事業」の推進に向けて
計画前半 ● 各重点プロジェクトについて、導入可能性調査・フィージビリティ（FS）調査などにより事業の効果を検討します。 ● 広域地域連携を視野に入れた協働体制を整えます。
計画後半 ● 地域資源を活用した事業を起業し、雇用の安定化、経済活動の活性化に繋がることを目指します。 ● 地域資源の利用拡大の足がかりとなる事業を展開します。 ● 最終年次にあたっては低炭素社会構築に向けて、新たなビジョン作りに着手します。

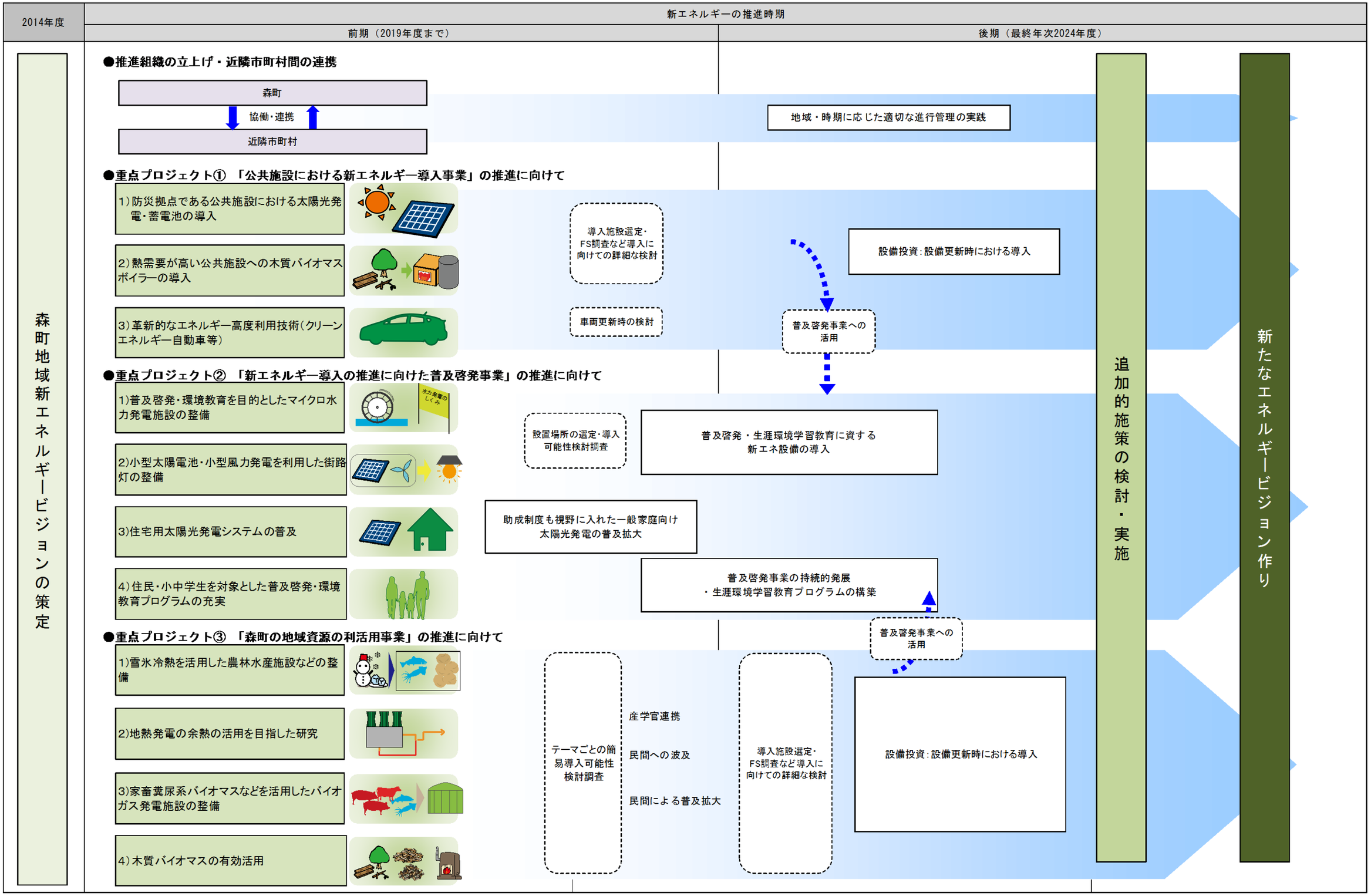

図 8-2-2　新エネルギー導入ロードマップ